

東京赤坂ロータリークラブ週報  
Weekly Report

2020～2021 年度クラブテーマ  
会長 熊本 誠司

「学び、理解し、楽しむロータリー」

本日の例会：2021 年 5 月 7 日 通算 1594 回 本年度 第 33 回

卓話：鈴木貞史会員（職業奉仕委員会企画）

卓話：大崎電気工業株式会社 ハンドボール部  
GM 近藤 恒俊 氏



● 第 1593 回 例会報告 / 2021 年 4 月 23 日  
出席報告：会員 44 名 25 名（内 ZOOM 5 名）  
ゲスト：渡辺光康、近藤恒俊、岩永 生、  
江口幸子、森 淳、木村昌文、佐藤浩也、高橋琴子、  
小川大介、川路利久、川路ひろみ、石井喜子、  
鈴木卓也、浅野 依理奈、川奈ルミ、浅本弘強  
Christian CANELA、伊敏 計 18 名（順不同・敬称略）

4/10～4/12 九州親睦旅行

4/10(土)～4/12(月)2泊3日九州の長崎、佐賀方面へ  
親睦旅行を行いました。詳細につきましては、裏面の  
旅行記をご覧ください。

参加者 13 名：

熊本、コンシニ、柴田みゆき、石井謙次、石井喜子、  
河邊幸夫、河邊美樹、入沢頼二、小林博茂、長谷川  
毅森本勝好、望月明美、伊敏（順不同・敬称略）

4月 23日 9 件 34,000 円 累計 603,000 円  
多額の寄付を有難うございました。（敬称略）

渡辺光康（東京南RC）/コンシニ/岩上義明/石井謙次/  
小林博茂/河邊幸夫/大谷啓子/長谷川毅/森本勝好



今  
後  
の  
予  
定

| 日 付             | 開始時間<br>終了時間   | 場 所                              | 事 項  | 内 容                                                                  |
|-----------------|----------------|----------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------|
| 5 月 14 日        | 12:30<br>13:30 | B1F オーロラ<br>ANA インターコンチネンタルホテル東京 | 例 会  | 卓話：「エクソソームで変わる<br>未来の先制的自己再生医療」<br>エクソアース 株式会社<br>代表取締役社長 CEO 西平 隆 氏 |
| 5 月 21 日        | 12:30<br>13:30 | B1F オーロラ<br>ANA インターコンチネンタルホテル東京 | 例 会  | 卓話：NGO マイノリティ・女性子供支援団体<br>“ISSYO” 代表 白根大輔 氏                          |
| 5 月 26 日<br>(水) | 13:00～         | オンライン                            | 地区大会 | 記念講演：元内閣総理大臣 小泉 純一郎 氏                                                |
| 5 月 28 日        |                | 休 会（5/26 地区大会振替のため）              |      |                                                                      |
| 6 月 4 日         | 12:30<br>13:30 | B1F オーロラ<br>ANA インターコンチネンタルホテル東京 | 例 会  | 卓話：タレント 青木さやか 氏                                                      |
| 6 月 11 日        | 12:30<br>13:30 | B1F オーロラ<br>ANA インターコンチネンタルホテル東京 | 例 会  | 休 会                                                                  |



執筆：昭和女子大学生生活機構研究科博士課程  
米山奨学生 イミン (Emgenud Imin)



右手側に座った人に、富士山が見れたようです。

4月10日 7:25 羽田空港出発



長崎空港に到着。

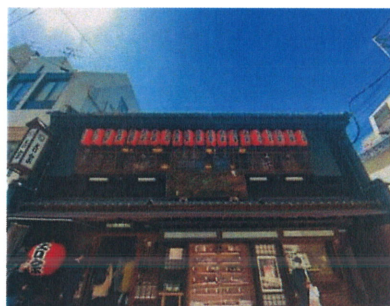
ガイドさんが迎えに来ていた。着く前にバスに乗って移動するだけだと思っていたため、ガイドさんを見て少し感動した。なぜかという、2010年、中国の青少年訪日団に参加して日本に来た時を思い出して、その経験が日本語を学ぶきっかけともなったからだ。懐かしい風景でした。変わったのは、私が日本語を分かるようになったこと。

赤坂の皆さんにとって久々であるようで、すごく楽しんでいた。

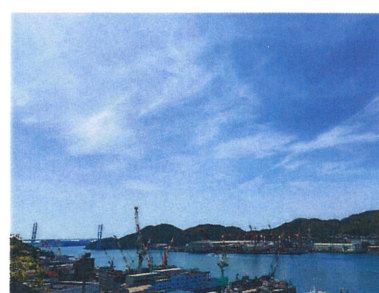
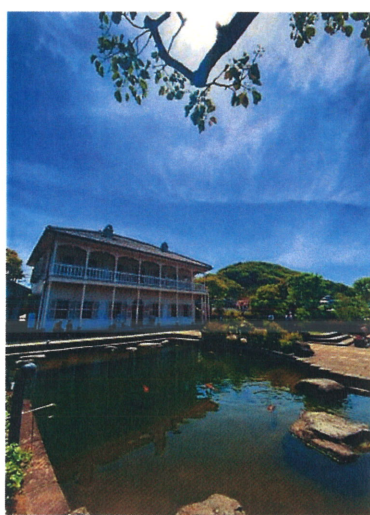
久しぶりの旅行、飛行機乗るのも一年ぶり、すごく楽しんでいた。四年前、朝の便で帰国する予定だったのが寝てしまい、朝の飛行機は特に怖くなり、今回は遅れないように5時半に到着した。空港ってこんなに人が少なかったんだねと思うぐらい、昔の姿を忘れていたのが、コロナの影響をもう一度実感できた瞬間でもあった。

同行のみなさんも次々と集まり、ようやく出発の時間になった。このまま実家帰れたらいいのになあと思いながら、長崎行きの飛行機に乗った。

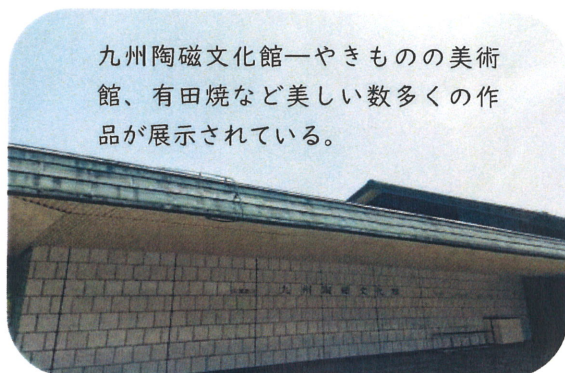
私にとって、長崎について理解は高校時代に学んだ世界史に留まっていた。事前に、熊本さんが旅行案内を作成して、旅行会社のそれに匹敵するくらいのもので、それを見て、はじめて行く先を確認し、もっと期待が湧いてきた。



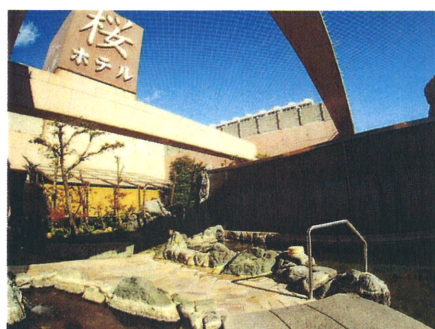
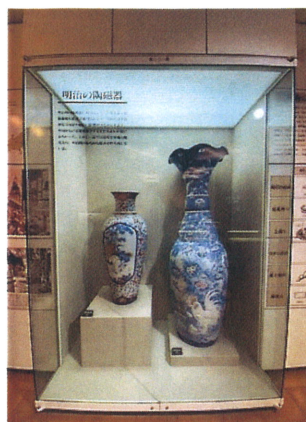
一回目の食事は、料亭吉宗という古い歴史のある茶碗蒸し料理のお店でいただき、伝統の名物を味わうことができた。



異国情緒漂うグラバー園—グラバー邸が工事中で、入ることができなかったが、長崎港を眺めながら園内を楽しめた。眺め抜群！



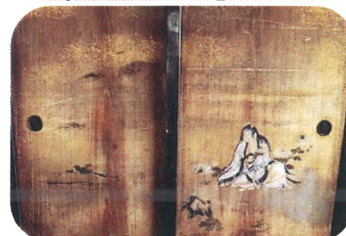
九州陶磁文化館—やきものの美術館、有田焼など美しい数多くの作品が展示されている。



日本三大美肌の湯として知られる嬉野温泉—桜ホテルでの宿泊。部屋に入った瞬間、あ、日本式だと当たり前前に驚き、布団などを探してクロゼットを全部開けてみて、あ、なるほど、食事に行く間にホテルの方が布団を敷いてくれるのを聞いて、またそれを期待するようになった。

そして、宴会場に行くと、皆さんはほぼ浴衣姿でいらして、再び驚いた。温泉に行く時だけではなく、食事にも着るんだねと、浴衣をパジャマのように思っていたので少し違和感を感じた。だが、すぐに慣れて、翌日、私も浴衣姿で朝食をとった。

伊万里牛付和懐石—外国人から見た和食の一つの魅力は、多彩な食材や食器を使った美しい盛り付けで、料理を目で楽しむことができることだと思う。



4月11日、佐賀市歴史民俗資料館—旧古賀銀行、旧古賀家を見学。一つは洋館のような雰囲気が印象的な建物、一つは伝統的な日本の家。歴史の流れを感じる伝統と近代建築が融合した街並び。熊本さんの祖母の実家でもあった。素敵なお家でした。

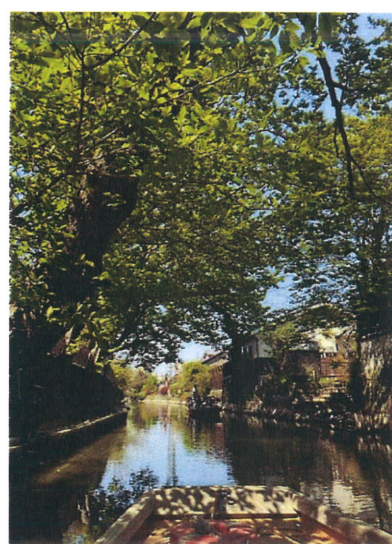
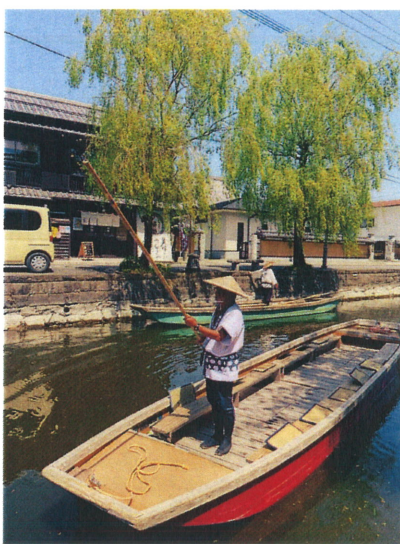


大隈重信旧宅と記念碑の前での記念写真。

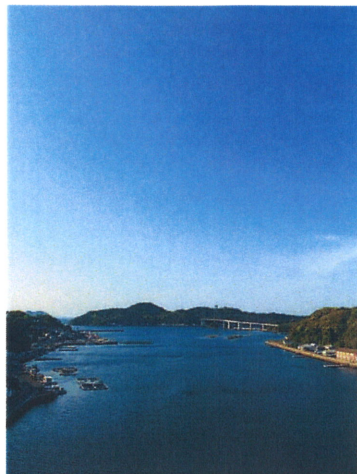
世界的政治家で、早稲田大学創立者でもある、旧宅が国の史跡に指摘されている。



11日のランチは、柳川・民芸茶屋六騎の鰻めしでした。ご飯の上に鰻の蒲焼と錦糸玉子をのせてセイロで蒸した柳川に昔から伝わる郷土料理。魚は苦手だが、鰻だけは好きで、とてもおいしかった。



昼食後、舟に乗って柳川の川下り観光を楽しめた。70分という長時間の乗船ははじめてだったが、青空、爽やかな風、緑に映える川沿いの景色、心が洗われた素晴らしい時間でした。途中、皆でアイスクリームを食べて、私にとっては最高の味だった。その場でしか味わえない美味しさでしょうか、アイスクリーム好きだったからでしょうか、その感動をとなりにモンゴル人がいたら絶対モンゴル語で伝えたかった。母語でしか表現できない気持ちってあるんだよね。



観光ホテル大望閣での宿泊。早く着いたため、夕食まで一時間自由行動。バスで通り渡った橋に行ってみた。空と海の色がそろった素晴らしい眺望でした。川の隣に生まれてその川の名をとった私は、川や海などと縁があるようで、日本に来て何度も引越しているが、近くに必ず川か海がある。モンゴル人は海を草原と比喻することもあるが、親近感があるように感じる。

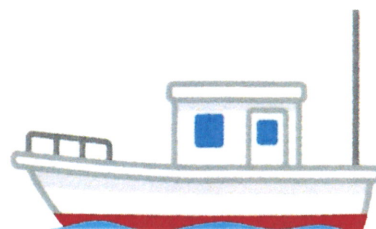
夕食は、呼子の名物イカの活き造りと佐賀牛はりはり鍋。生物でさらに動いている魚だと、もっと抵抗があったが、ここでしか味わうことができないと薦められ、イカとサバを少し食べてみた。意外とおいしくて、私が思っていた魚の味と全然違う味でした。



4月12日、呼子朝市からスタート。普段は朝から活気あふれる賑やかな場所だったようだが、コロナの影響で人通りが少ない。

干したイカが多かったが、私たちが牛肉を干して食べるのと同じだねと思いながら見ていた。私以外の方は、皆お土産を買ったようでした。日本人にとって、海産物は最高のお土産になるよね。

10時半からイカ丸というイカのデザインをした船に乗って遊覧。七ツ釜の洞窟、まさに自然のつくった芸術品。





唐津くんちの主役である曳山の展示を見学。日本の祭りを生で見たことも少なく、このような曳山を近くから見るのも初めてだった。ビデオで祭りの歴史や様子が説明されていて、強い感動を抱き、伝統文化の素晴らしさに心が震えられた瞬間だった。



唐津城一天守閣から海が一望できて、景色がとても素敵だった。唐津の歴史、唐津焼などが展示され、観光地としても魅力的なスポットでした。

城跡とは古い歴史や歴史人物などを知る上で貴重な存在になると思う。

鏡山展望台から眼下に広がる唐津湾、虹の松原のすばらしい絶景を眺めて、ここが旅の最終のスポットでもあった。



12日のランチは、ウニ丼。ウニを食べる勇気はなかったが、どんな味だろう。



中里太郎右衛門陶房—豪華で高価な美術品が展示されている。撮影好きな私にとって、魅力的な建物でした。



3日2泊の親睦旅行、日本の文化や歴史、緑に溢れる自然に魅力された貴重な体験でした。友達から「親睦ってなんの旅行」と聞かれて、「仲良くなる旅行」と答えた。私にとって、普段話す機会も少ない方々と旅中気軽に話したり、笑ったりして、すごく楽しかった。

熊本会長、誘ってくださりまして本当にありがとうございました。

